

# 香南市出身おもちゃドクター のむら ひろし インタビュー 野村 弘さん



開院した当初からおもちゃドクターの一人である野村弘さん。野市町東野に生まれ、高知工業高等専門学校（高知高専）で49年間（定年後の非常勤講師を含む）教鞭をとり、退職後におもちゃドクターの一員になりました。



## おもちゃドクターとして活動を始めたきっかけは？

退職後、社会とのつながりを求めているときに、おもちゃドクター養成講座の情報を新聞から知ったのがきっかけです。また、これまでのものづくりの経験を生かした活動ができるという点にも魅力を感じました。銀行マン、歯科技工士、公務員、教師...とさまざまな経歴の面白いメンバーが集まっていて、楽しく活動しています。



## ものづくりの経験について詳しく教えてください



▲通勤に利用していた電気自動車

戦死した父が残してくれたテスターやはんだごてを使い、小さい頃からラジオ製作などのものづくりに没頭していました。大学卒業後は高知高専の電気工学科の教員として、教育や研究に携わり、色々な実験装置を作りました。また、学生と一緒に製作した電気自動車で野市町から職場まで13年間通勤していました。

※テスター：電流・電圧・抵抗などの測定ができる小型の計器▶



## 高知おもちゃ病院の活動でやりがいを感じる瞬間は？

電子回路にかかわる実験等に教授時代から関わっていらしたので、電子的な修理が必要なおもちゃは私のところに回ってきます。ですが、修理にはそのおもちゃ専用の部品を要することが多く、新たに部品を手に入れることができないんです。そんな時は、私は同じような動きをする部品を用意し、工夫して修理をおこないます。どのようにしたら、このおもちゃが正常に動作するのか、故障の原因は何か試行錯誤してる時間が一番楽しいです。また、直ったおもちゃを見て、子どもが本当にうれしそうなる表情をするんです。この瞬間が何よりうれしいですね。



▲おもちゃの治療風景



▲1：壊れた部品を3Dプリンタで復元  
2：修理後のおもちゃ  
3：修理方法の説明

診察日や直るまでの流れは、ホームページを確認ください▶



お医者さんに車を治してもらったよ！

# おもちゃを修理 笑顔をお届け



## 高知おもちゃ病院をご存じですか？

おもちゃ病院は、壊れたおもちゃを原則無料で修理し、物の大切さを伝えることを目的として、平成8年頃から全国で活動が始まったボランティア団体です。

高知県では、平成27年に高知市内で「高知おもちゃ病院」が開院されました。

開院当時の会員数は24名でしたが、活動を続けて9年目の現在は、南国市、四万十市、安芸市にも分院が置かれ、会員数は50名に増えました。香南市では、イベントの際に出張開院を実施しており、また、保育所や総合子育て支援センター「にこなん」で集配サービスも行っています。今回は開院当初からの一員である野村弘さんにお話を伺いました。

▶高知おもちゃ病院の皆さん



## 香南市での取り組み



イベントなどの際に出張開院（出張おもちゃ病院）を実施しています。また、香南市内の保育所や幼稚園、子育て支援センター「にこなん」にて集配サービスも行っています。

※集配サービスとは、壊れたおもちゃを取りに行き、修理して返却するサービスです

### 令和4年に香南市で実施された出張開院

- 7月13日 赤岡保育所（預かりのみ実施）
- 10月30日 のいち図書館まつり
- 11月20日 ヤ・シィの秋まつり
- 12月10日 吉川町しおさい祭り



▶のいち図書館まつり



▶「にこなん」での集配サービス

